

平成18年8月 試験研究業務月報



課題名 トウモロコシの刈り取り・サイレージ調製

要 旨

自給飼料の生産は、飼料自給率の向上や循環型農業を推進するために重要です。

当センターでは冬期の搾乳牛の良質な粗飼料とするため、2.4haにトウモロコシを栽培しています。今年は天候不順でしたが、平年並の約96トンの収量があり、半年分の粗飼料が確保できました。

京都府畜産技術センター